

令和 4 年 10 月 7 日

羽曳野市議会議長 様

会派名 公明党

代表者名 通堂 義弘



議員名



( 令和4 年度 第 2 四半期 ) 政務活動費収支報告書

羽曳野市議会政務活動費の交付に関する条例第10条第1項の規定により、政務活動費の交付の対象となる政務活動費に要した収入及び支出について、下記のとおり報告します。

記

1 収入

交付済額 74,694 円

2 支出

項目	金額	政務活動費を充てた主な経費	※ 第1四半期から 第4四半期の合計金額
調査研究費			
研修費			
広報費	35,200	市議会ニュース発行費	
広聴費			
要請、陳情活動費			
会議費			
資料作成費	62,936	カラー複合機リース費・印刷費 ・消耗品購入	
資料購入費	8,250	新聞購読料	
計	106,386		

※第4四半期の実績報告を行う場合は、第1四半期から第4四半期の合計金額を記入すること。

様式第6号 (第6条関係)

( 令和4 年度 第 2 四半期 ) 政務活動費支出内訳書

会派名 公明党

経理責任者 通堂 義弘




議員名

印

項目	広 報 費			
支払年月日	使 途	金 額 (円)	内 訳	添付書類番号
2022年7月23日	市政報告通信代	35,200	公明党羽曳野市議会ニュース	広報-1
	(小計)			
	合 計	35,200		

様式第8号(第6条関係)

## 領収書等貼付用紙

支出内容	広報費：市議会・市政報告「公明党羽曳野市議会ニュース」令和4年初夏号 作成費	
支出額	35,200円	※消耗品の場合 【使用場所の区分】 <input type="checkbox"/> 議会棟内会派控室 <input type="checkbox"/> 議員事務所 <input type="checkbox"/> 議会に届け出ている事務所 <input type="checkbox"/> その他 (所在地： ) <input type="checkbox"/> 自宅内事務所 , <input type="checkbox"/> その他 ( )
※按分する場合 支出額のうち政務活動費として計上する額	円	
(按分： %)		
3,000枚	32,000円 + 3,200円 (消費税) = 35,200円	
<p>～ 領 収 書 ～</p> <p>羽曳野市議会 公明党議員団様</p> <p>2022年7月23日</p> <p>¥ 35,200.-</p> <p>上記の通りに領収いたしました</p> <p>公明党 羽曳野市議会ニュース 2022年夏号 印刷. 7割一式 A4 1/4 3,000枚</p> <p>田中晴美 (購)</p>  <p>072-332-0647 http://harumi-art.com info@harumi-art.com</p>		

※1ページに複数枚の貼り付け可。ただし、重ならないように貼り付けること。

※補足事項があるときは、余白に記入すること。

# 公明党羽曳野市議会ニュース



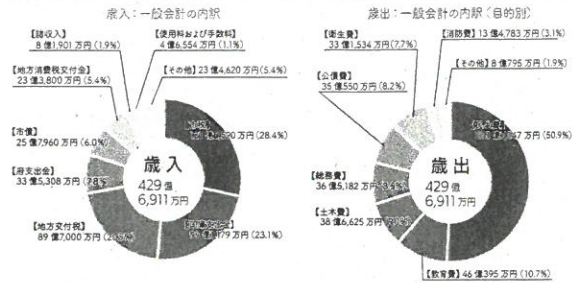
羽曳野市役所公明党控室 TEL 072-958-1111(代表) 発行責任者: 笠原由美子 【令和4年 初夏号】

皆様のお声をもとに、

**羽曳野市議会公明党** が推進した事業が

令和4年新年度予算で **実現** できました。

その一部を紹介いたします。



## 市内小・中学校体育館への エアコン設置事業

地方創生臨時交付金を活用します。



## 学校給食センター整備事業

新築移転整備の基本計画を策定します。



## 市民プール整備事業

今年夏の供用開始に向け工事を進めています。



## 本庁舎建替整備事業

耐震性能や老朽化等の課題がある市役所本館の基本構想・基本計画を策定します。



## ボール遊びができる広場整備事業

旧高鷲北幼稚園跡地に、子どもたちが安心してボール遊びができる広場を整備します。

## こどもえがお部の創設

子どもや家庭が抱える様々な課題に対し、適切に対応するための包括的な支援に取り組めます。



## (仮称)羽曳野観光局の設立

地域資源を生かした新たな観光施策に取り組めます。



## 医療用ウィッグ購入費用助成事業

全頭用ウィッグ購入を助成します(1万円上限)。



## 季節性インフルエンザ予防接種費用助成事業

75歳以上、(受験生のため)中3、高3の方は無償になります。



## 留守家庭児童会、土曜日通年開会への拡充

令和4年7月からスタートの予定です。



## 多子世帯小学校給食の無償化、 中学校給食の半額化

3人以上の多子世帯のご家庭が対象です。



## 行政手続きのオンライン化に向けた 電子申請基盤導入

申請書や届出を来庁せずに申請できるシステムを構築します。(市役所窓口のデジタル化)



## 子宮頸がんワクチン接種

積極的な勧奨が再開され、市独自で小学校6年生～高校3年生に個別通知を送付し接種勧奨を行う。平成9年～平成17年度生まれの女性にも無料で、接種できるようキャッチアップ接種を実施。



## 不妊治療保険適用(条件があり)

体外受精などの基本治療は保険適用され、経済的な負担は大幅に軽減。治療開始時の女性の年齢が43歳未満であること。子ども1人につき最大6回まで治療。



## 笠原 由美子



笑顔あふれる  
羽曳野に!

### 会派代表質問 市政運営の基本的考えを質問

人口確保の取組 ①ふるさと納税 ②観光局の開設で世界・日本遺産を有す街。阪万博を絶好のチャンスとは何故か ③人事評価システムの導入で、職員の育成、生産性向上スキルアップに繋げられるか聞く。

**要望** 人口確保、ふるさと納税、観光政策、人材の育成は大切な観点。他市に負けない取組と、ふるさと納税と観光を共に進める事で施策展開を要望。

平和、安心・安全、健康、教育、環境、羽曳野市民で良かったと思える取組について聞く。マイナンバーカードの今後の取組を聞く。高齢者雇用安定法が公布され施行。市民が税金を払い、長年育て上げた人材群である職員のキャリアプラスとして、採用する考えを聞く。

**要望** マイナンバーカードの普及は、今後更なる取組を要望。退職職員はキャリア満点、雇用に躊躇する事はなく、市民が育てた行政のプロの活用を市長判断で取り入れる事を要望。

## 通堂 義弘



政策実現の  
行動派!!

### 環境問題について

令和元年6月にはびきのプラスチックごみゼロ宣言を行い、石川クリーン作戦等の清掃活動やマイバッグ、マイボトル運動に積極的に取り組んできた。

公共施設や集会所などにペットボトルや蛍光灯、乾電池などの回収ボックスを設置するとともに、本年1月からはインクカートリッジリ帰りプロジェクトに参画し、新たな資源施策にも取り組んでいる。

自動販売機リサイクルボックスへの一般ごみの混入について、利用者のマナー向上に向け、ごみの適切な処理や環境問題等についての周知啓発を様々な機会を通して行っていく。令和4年度に策定する、地球温暖化対策実行計画に合わせて、ペットボトルをはじめとするリサイクルについても、より一層の周知啓発の実施を考えている。

**要望** ペットボトル以外の異物を自社製品の販売とはいえ、業界だけに任せるには限界がある。業界と連携し、異物混入が多いエリアの調査、実態の把握、公共回収ボックスの適切な設置、官民協働の資源回収モデルの策定など、協議会などを立ち上げて検討を要望する。

## 外園 康裕



情熱・挑戦・  
頼れる行動派!

### 空家対策の進捗について

空家の利活用に不可欠と思われる不動産業界など民間との協定の進捗状況を質問しました。

不動産関係団体と協議を重ね、4月に連携協定の締結を予定しているとのこと。

**要望** 特定空家等に認定されていなくても、市独自のルールとして必要最小限の範囲での「緊急安全措置」を実施し、その費用を管理者等に請求できる施策の導入を要望しました。

市長は(仮)こどもえがお部の創設に並々ならぬ気持ちがあると推察するがこの点について聞く。



**要望** こどもえがお部の創設は大いに期待。幾度も議会でワンストップで出産から育児まで相談できる体制づくり羽曳野版ネウボラ実施を要望してきた。今度こそ出産から子育てまで相談出来る、こどもえがお部を要望。

手話言語条例は平成31年4月1日から施行。条例の活用で障害のある方も参加できる体制を聞く。

**要望** 市長の施政方針や議会の同時通訳なども検討を要望。

恵我ノ荘駅前周辺の再生整備は、地元関係町会でまちづくり推進協議会を結成し、学習や視察等で取組、令和3年には大筋の目途が立つ予定と聞いていたが遅々として進まない。駅前整備の現状と今後の計画を聞く。

**要望** 市民の期待に応える結果を一日も早く進める事を要望。

高北幼稚園跡地はボール遊びができる広場に。地元の周知徹底と公園利用の安全性について聞く。高鷲南中学校北側の浸水対策で藤井寺市との計画が進まない雨水対策を聞く。

**要望** 幼稚園跡地利用は住環境の保持を要望。浸水対策は、令和6年度の完全完成を目指しての取組を強く要望。

### スマートフォンの活用について

納税関係の納付を、令和2年11月より、スマホ決済アプリのPayPayとLINEペイを導入している。令和4年度より、auペイ・d払い・J-Coinペイの導入を予定している。

登降園などへのアプリの活用について、多様な機能を備えており、書類の電子化やアプリを使用した欠席連絡等、様々なサービスを園の実情に合わせて選択が可能。段階的に実施して行く。

防災情報アプリの活用について、スマホのアプリでは無いが、大阪府で新たなO-DISの導入が進められる予定。本市の防災情報関連も発信される。避難所の開設状況や混雑状況についても情報発信する事が出来、防災情報メールやテレビのデータ放送で確認する事が出来る様になる。

**要望** 納税関係以外の科目についても対応し、さらなる市民の利便性向上の取り組みを要望。保育士の業務負担軽減、保育の質の向上をさせる為、様々な機能の活用を要望。防災情報アプリは、高齢者やお子さんでも使いやすいアプリや、家族一緒に使えるアプリなら、使い方を教え合ったり、GPSで居場所をチェックしたりとメリットが多くある。そのようなアプリの導入を要望する。



### 来庁者への窓口対応について

「書かない窓口」「セルフレジ」設置の考えを質問しましたが、対話型での対応が無理なくできることや、プライバシーに考慮した窓口にすることが課題とのこと。

**要望** 必ず市民サービスの向上と感染症対策につながるため、導入を要望しました。

### エンディングノートについて

当市ではマイ・ノートと呼び、3,000部ほど市民に配布しているとのこと。

**要望** マイ・ノート抜粋版の作成とダウンロード対応を要望しました。



## 領収書等貼付用紙

支出内容	資料作成費：コピー機のリース料	
<p>支出額 <u>111,540円</u></p> <p>※按分する場合 支出額のうち政務活動費として計上する額</p> <p><u>55,770円</u></p> <p>(按分： 50%)</p>	<p>※消耗品の場合</p> <p>【使用場所の区分】</p> <p><input type="checkbox"/> 議会棟内会派控室</p> <p><input type="checkbox"/> 議員事務所</p> <p><input type="checkbox"/> 議会に届け出ている事務所</p> <p><input type="checkbox"/> その他 (所在地： )</p> <p><input type="checkbox"/> 自宅内事務所</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ( )</p>	
<p>複合機リース料：7月～9月分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月分：33,800円+3,380円=37,180円 (1/2 18,590円)</li> <li>・ 8月分：33,800円+3,380円=37,180円 (1/2 18,590円)</li> <li>・ 9月分：33,800円+3,380円=37,180円 (1/2 18,590円)</li> </ul> <p style="text-align: center;">計 111,540円 (1/2 55,770円)</p>		

※1ページに複数枚の貼り付け可。ただし、重ならないように貼り付けること。

※補足事項があるときは、余白に記入すること。

様式第9号(第6条関係)

支払証明書

番号	支払年月日	項目	支払額(円)	支払先	使途及び支払内容	領収書を徴し得ない理由	備考
①	2022年7月4日	資料作成費	18,590	三井住友 トラストファイナンス	コピー機のリース代	銀行口座自動引き落の為	37,180円×按分率1/2
②	2022年8月3日	資料作成費	18,590	三井住友 トラストファイナンス	コピー機のリース代	銀行口座自動引き落の為	37,180円×按分率1/2
③	2022年9月5日	資料作成費	18,590	三井住友 トラストファイナンス	コピー機のリース代	銀行口座自動引き落の為	37,180円×按分率1/2
④							
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							

上記のとおり相違ないことを証明します。

2022年10月7日

会派名 公明党

代表者名又は議員名 通堂義弘

※按分により政務活動費の支出を行った場合には、「備考」欄に支払総額及び按分割合を記載すること。



# リース お支払明細書

2021年 5月24日作成

拝啓 野下様ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。このたびは、弊社をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。早速でございますが、ご契約いただきました内容を、お知らせ申し上げます。ご確認賜りたくお願い申し上げます。万一、ご不明な点がございましたら、弊社までご連絡くださいますようお願い申し上げます。尚、後ともお取引のほどよろしくお願い申し上げます。敬具

品名	096333
台数	1
備考	左記他商品
商品	096333 ネットシステム (株)

自	2021年 5月13日
至	2027年 5月12日
72ヶ月	

月間リース料	33,800円
消費税額等	3,380円
合計	37,180円

支払日	第1回支払日 2021年 7月 3日
	第2回支払日 2021年 8月 3日
	第3回日以降 毎月 3日

お支払方法	自動振替
前払リース料	0円
消費税額等	0円
合計	0円

\*前払リース料及び消費税額等には利息は付しません。

回	お支払	リース料	消費税額等	備	回	お支払	リース料	消費税額等	備
目	年月	円	円	号	目	年月	円	円	号
121	7	33800	3380		4325	1	33800	3380	
221	8	33800	3380		4425	2	33800	3380	
321	9	33800	3380		4525	3	33800	3380	
421	10	33800	3380		4625	4	33800	3380	
521	11	33800	3380		4725	5	33800	3380	
621	12	33800	3380		4825	6	33800	3380	
722	1	33800	3380		4925	7	33800	3380	
822	2	33800	3380		5025	8	33800	3380	
922	3	33800	3380		5125	9	33800	3380	
1022	4	33800	3380		5225	10	33800	3380	
1122	5	33800	3380		5325	11	33800	3380	
1222	6	33800	3380		5425	12	33800	3380	
1322	7	33800	3380		5526	1	33800	3380	
1422	8	33800	3380		5626	2	33800	3380	
1522	9	33800	3380		5726	3	33800	3380	
1622	10	33800	3380		5826	4	33800	3380	
1722	11	33800	3380		5926	5	33800	3380	
1822	12	33800	3380		6026	6	33800	3380	
1923	1	33800	3380		6126	7	33800	3380	
2023	2	33800	3380		6226	8	33800	3380	
2123	3	33800	3380		6326	9	33800	3380	
2223	4	33800	3380		6426	10	33800	3380	
2323	5	33800	3380		6526	11	33800	3380	
2423	6	33800	3380		6626	12	33800	3380	
2523	7	33800	3380		6727	1	33800	3380	
2623	8	33800	3380		6827	2	33800	3380	
2723	9	33800	3380		6927	3	33800	3380	
2823	10	33800	3380		7027	4	33800	3380	
2923	11	33800	3380		7127	5	33800	3380	
3023	12	33800	3380		7227	6	33800	3380	
3124	1	33800	3380		**合計**		2433600	243360	
3224	2	33800	3380						
3324	3	33800	3380						
3424	4	33800	3380						
3524	5	33800	3380						
3624	6	33800	3380						
3724	7	33800	3380						
3824	8	33800	3380						
3924	9	33800	3380						
4024	10	33800	3380						
4124	11	33800	3380						
4224	12	33800	3380						

支払元	コウメイウ カサハラミコ
支払先	
口座番号	
口座名義人	

領収書等貼付用紙

支出内容	資料作成費：(ネットシステム)	
支出額	3,014円	※消耗品の場合 【使用場所の区分】 <input type="checkbox"/> 議会棟内会派控室 <input type="checkbox"/> 議員事務所 <input type="checkbox"/> 議会に届け出ている事務所 <input type="checkbox"/> その他 (所在地： ) <input type="checkbox"/> 自宅内事務所 <input type="checkbox"/> その他 ( )
※按分する場合 支出額のうち政務活動費として計上する額	1,507円	
(按分： 50%)		
コピー機 6月カウンター料		

領 収 証

No.002751

2022年7月26日

公明党羽曳野市議団 様

金額

¥ 3,014-

但し 6月分カウンター料として  
上記の金額正に領収いたしました

収 入  
印 紙

内 訳

税 抜 金 額

消 費 税 額 等 ( % )

ネットシステム株式会社  
〒584-0038  
大阪府富田郡中田1-10-12  
TEL.(072) 736-1144  
FAX.(072) 736-7650


担当印

※1ページに複数枚の貼り付け可。ただし、重ならないように貼り付けること。

※補足事項があるときは、余白に記入すること。

様式第8号(第6条関係)

## 領収書等貼付用紙

支出内容	資料作成費：(ネットシステム)	
支出額	9,576円	※消耗品の場合 【使用場所の区分】 <input type="checkbox"/> 議会棟内会派控室 <input type="checkbox"/> 議員事務所 <input type="checkbox"/> 議会に届け出ている事務所 <input type="checkbox"/> その他 (所在地： ) <input type="checkbox"/> 自宅内事務所 <input type="checkbox"/> その他 ( )
※按分する場合 支出額のうち政務活動費として計上する額 4,788円 (按分： 50%)		
コピー機 7月カウンター料		
<h2>領 収 証</h2>		
公明党羽曳野市議団 様		No.002767 2022年8月26日
金額	¥ 9,576 -	
但し	7月分カウンター料	
上記の金額正に領収いたしました		
収入印紙	内 訳	ネットシステム株式会社 〒584-0001 大阪府羽曳野市甲田1-10-12 TEL 072-23-7611(代) FAX 072-23-7650
	税抜金額	担当印
	消費税額等( %)	

※1ページに複数枚の貼り付け可。ただし、重ならないように貼り付けること。

※補足事項があるときは、余白に記入すること。

領収書等貼付用紙

支出内容	資料作成費：(ネットシステム)		
支出額	1,742円	※消耗品の場合 【使用場所の区分】 <input type="checkbox"/> 議会棟内会派控室 <input type="checkbox"/> 議員事務所 <input type="checkbox"/> 議会に届け出ている事務所 <input type="checkbox"/> その他 (所在地： ) <input type="checkbox"/> 自宅内事務所 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
※按分する場合 支出額のうち政務活動費として計上する額	871円		
	(按分： 50%)		
コピー機 8月カウンター料			

## 領 収 証

No.002783

2022年9月26日

公明党羽曳野市議団 様

金額

¥ 1,742-

但し 8月分カウンター料として  
上記の金額正に領収いたしました

収 入  
印 紙

内 訳

税 抜 金 額 \_\_\_\_\_

消費税額等( %) \_\_\_\_\_

ネットシステム株式会社

〒584-0036  
大阪府富田 1-10-12  
TEL (072) 761 (代)  
FAX (072) 761-7650

※1ページに複数枚の貼り付け可。ただし、重ならないように貼り付けること。  
 ※補足事項があるときは、余白に記入すること。



様式第 8 号(第 6 条関係)

## 領収書等貼付用紙

支出内容	資料購入費：(日本教育新聞)	
<p>支出額 <u>8,250円</u></p> <p>※按分する場合 支出額のうち政務活動費として計上する額</p> <p><u>円</u></p> <p>(按分： %)</p>	<p>※消耗品の場合</p> <p>【使用場所の区分】</p> <p><input type="checkbox"/> 議会棟内会派控室</p> <p><input type="checkbox"/> 議員事務所</p> <p><input type="checkbox"/> 議会に届け出ている事務所</p> <p><input type="checkbox"/> その他 (所在地： )</p> <p><input type="checkbox"/> 自宅内事務所</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ( )</p>	
<p>2022年7月分～9月分 <math>33,000円 \div 12ヶ月 = 2,750円</math> 3ヶ月分 = 8,250円</p> <p style="text-align: center;">領収書：別紙添付</p>		

※1ページに複数枚の貼り付け可。ただし、重ならないように貼り付けること。

※補足事項があるときは、余白に記入すること。

# 領収証

羽曳野市議会 公明党  
通堂 義弘 様  
(コード: 69 - 483253 )

金額 : ¥33,000-

但し 日本教育新聞 購読料

購読期間(年月) : 2022年6月 ~ 2023年5月

支払方法 : クレジットカード決済

領収日 : 2022/6/18

上記の金額正に領収いたしました

株式会社日本教育新聞  
東京都港区白金台 10  
TEL 03-3280-125



印 収  
紙 入

扱  
者  
印

企画特集「大学通信教育」（11面）／特集「夏の教育研究集会」一覽（11面）



教育界と共に歩んで

76周年

創刊 1946(昭和21)年5月1日

発行所

日本教育新聞社

〒108-8638

東京都港区白金台3-2-10

電話03(3280)7008(大代表)

郵便振替 00150-8-196500

©日本教育新聞社 2022

購読申し込み 03(3280)7025  
Eメール kodoku@kyoiku-press.co.jp

ホームページ http://www.kyoiku-press.co.jp



このQRコードをスマートフォンなどで読み取っていただきますと、日本教育新聞電子版のページにアクセスできます。

注目記事

夏に「スケート」、中学の魅力に  
車輪で滑るインラインスケートを保健体育の授業導入している中学校がある。生徒数は34人の小規模校先月はプロ選手を招いて、生徒に技を見せたり、技教えたりした。

# 校内・自主研修も記録対象に

## 文科省 ガイドライン案公表

来年度から始まる研修受講履歴を活用した教員研修制度について、文科省は6月27日、教育委員会向けのガイドライン案を中央教育審議会の特別部会に報告した。履歴を残す研修として、任命権者の教委が実施するもの、他に、教委が必要と認めるものも対象にすることを提案した。その中には、一定の校内研修や教員の自主研修も含まれるとの方針を示した。

改正教育公務員特例法で来年度から始まる新たな研修では、任命権者である教委が教員ごとに研修履歴を記録し、校長がそれに基づき今後の研修の受講を奨励する。記録する研修の範囲や内容など

加している研修も含め稼働させる方針も示した。

一定の校内研修や研究の例として、教委などの研究指定や、年間でテーマを設定した組織的な研究活動などを挙げた。教員の自主的な研修については申告

長が実施することとし、校長に対しては、教育長らが面談し、研修の受講を推奨することを定めた。

対象者の具体例として①合理的理由なく、法定研修や悉皆の研修に参加しない②勤務の支障がないにもかかわらず、必要な校内研修に参加しない③ICTや特別支援など特定分野で資質向上の必要があるにもかかわらず、資質向上に努めようとする姿勢が見受けられない④の場合を例示した。

また指導が不適切と認定されなくても、課題があるとみられる教員への対応にも言及している。

# 資質向上で指針案示す

## 研修成果の確認方法明確化

教員研修制度のガイドライン形式の場合は、「カ」などを挙げた。

オンライン研修を組み合わせた。

# 経産省検討会の提言受け 「デジタル活動」 新団体が支援へ

面 イド 提 のた 施策 ル関 理解 ヲモ エン 挙げ らの 学校 活 活動 ンテ

文 学校 文 十



国公立大で開設相次ぐ「データサイエンス学部」とは（10面）／連載「学杉の危機管理」（4面）



教育界と共に歩んで  
76周年

創刊 1946(昭和21)年5月1日  
発行所  
日本教育新聞社  
〒108-8638  
東京都港区白金台3-2-10  
電話 03(3280)7008(大代表)  
郵便振替 00150-8-196500

©日本教育新聞社 2022  
ご購読申し込み  
〒03(3280)7025  
Eメール kodoku@kyoiku-press.co.jp  
ホームページ http://www.kyoku-press.co.jp



このQRコードをスマートフォンなどで読み取っていただきますと、日本教育新聞電子版のページにアクセスできます。

注目記事

大学の「英語村」に小学生  
小学生が海外からの留学生や教員志望の学生と英語で大学生活を体験する「英語村」。非英語圏からの留学生と英語で行うコミュニケーションが貴重だという。

# 「理科は大切、中3で増加

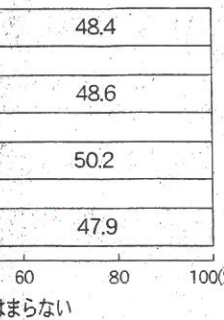
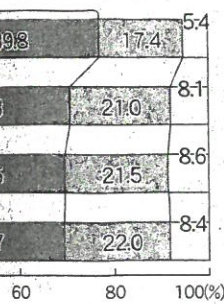
## 将来の職業にはつながらず

### 全国学テ質問紙調査

文科省は7月28日、本年度の全国学力・学習状況調査の結果を公表し、質問紙調査では、「理科の勉強は大切だ」と考える中学生が増えた。全体の8割近くに達した。一方、理科を好む小学生は減り、小・中学生とも理科や科学技術に関する職業に就きたいと考えている割合は増えなかった。学校対象の調査では、不登校の児童・生徒の支援に当たって、GIGA端末の活用が広がっていた。

本年度は4月19日、小学校6年生と中学校3年生を対象に行った。例年の国語、算数

・数学の他、おむね3年に1度の頻度で調べる理科を加えて「書くこと」に関する設問で正答率が低かった。小6の算数では、「変化と関係」に関する設問で正答率が低く、報告書では、「日常の場面に対応させながら割合について理解すること」の指導を求めた。中3の数学では、図形と関数に関する設問で正答率が低かった。



まらない

文科省は7月19日、公表した。全国で19校が対象となり、新学科の設置に向けた検討など、本年度の支援先を

# 新学科開設19校を指定

文科省

文科省は7月19日、公表した。全国で19校が対象となり、新学科の設置に向けた検討など、本年度の支援先を

# 高校の普通科改革

理科は、小6、中3とともに、エネルギーに関する設問で、正答率が低かった。質問紙調査では、理科に関して平成24年度から、おむね3年以内で、問いを設けている。今回は4年ぶりに問いを設けることとなり、集計結果からは、過去10年間の変化が分かる。「理科の勉強は大切だと思うか」について、「当てはまる」または「どちらかといえは当てはまる」と答えた割合は、小6が86・5%、中3は77・1%だった。小6は、平成24年度調査以来、85%前後が続いた一方、中3は増加傾向が続き、10年前の69・1%から10%近く増えている。「理科の勉強が好きか」との問いでは、小6と中3で逆の傾向が出た。「当てはまる」または「どちらかといえは当てはまる」と答えた割合は、中3が10年前と比べ4・7%増の66・4%となったのに対して、小6は1・7%減の79・8%となった。「将来、理科や科学技術に関する職業に就きたいと思うか」では、10年前と比べ、中3は1・3%減の22・6%。小6は1・8%減

好評連載「校長塾——手術を経ての気づき」（4面）／公民館が小・中学生に「学び方」の講座（11）



教育界と共に歩んで  
76周年

創刊 1946(昭和21)年5月1日  
発行所  
日本教育新聞社  
〒108-8638  
東京都港区白金台3-2-10  
電話03(3280)7008(大代表)  
郵便振替 00150-8-196500  
©日本教育新聞社 2022  
購読申し込み 03(3280)7025  
Eメール kodoku@kyoiku-press.co.jp  
http://www.kyoiku-press.co.jp

このQRコードをスマートフォンなどで読み取っていただきますと、日本教育新聞電子版のページにアクセスできます。

注目記事

「1人1台」を防災に生かす  
GIGAスクール構想で整備した情報端末を防災教育に生かす動きが広がっている。動画教材の活用をはじめ、防災マップ作りでも、新しい試みがある。

# 子どもたちの権利条約明記

## 生徒指導提要改訂案まとめ

有識者会議

文科省の有識者会議は8月26日、生徒指導に関する教員用引書「生徒指導提要」の改訂案をまとめた。冒頭部分で、児童・生徒の権利の理解を訴えたのが特徴で、日本が批准している「子どもの権利条約」や「こども基本法」の趣旨を明記。「児童生徒の基本的な人権に十分配慮し、一人一人を大切にされた教育」を求めた。近く同省のウェブサイトに公表する。

生徒指導提要は平成22年の現行版から初めて改訂される。いじめや暴力行為の他にも、児童虐待への対応やインターネットの関わるトラブル、性や発達障害など多様な課題を丁寧に取り扱った。児童・生徒の権利の理解に伴い、校則の運用についても言及した。「校則を守らせることにはこだわりがあるが、教職員がその背景や理由についても理解し、児童・生徒が、自主的に校則を守るように指導していくことが重要だと指摘。そのため、校則の内容を学

になる見通しで、現行版より40%も分量が増える。冊子版で配布せず、電子版のみで公表する。

### 「マルチリポートメント」に言及

現行版で「懲戒と体罰」について論じた部分は、「懲戒と体罰、不適切な指導」に改められた。「いたずらに注意や過度な叱責を繰り返すことは、児童生徒のストレスや不安感の高まり、自信や意欲の喪失など児童生徒を精神的に追い詰めることにつながりかねない」と戒めている。不適切な指導となり得る例として、「大声で怒鳴るなど、感情的な言動で指導する」といった行為を挙げた。近年、「マルチリポート

## 自宅や出張時の業務可 校務のデジタル化で

校務のデジタル化を推進している文科省の専門家会議が8月26日、中間まとめを出した。教員が自宅や出張時でも業務をできるよう、教職員端末の1人1台化と校務支援システムのクラウド化を進めることなどを盛り込んだ。教員が子育ての負担を軽減するなどの効果も期待している。専門家会議が8月26日、中間まとめを出した。教員が自宅や出張時でも業務をできるよう、教職員端末の1人1台化と校務支援システムのクラウド化を進めることなどを盛り込んだ。教員が子育ての負担を軽減するなどの効果も期待している。

## TA全国研究大会・山形大会 「対面」開催 約8000人が参加

26、27の両日、山形県内で行われた。全国の小・中学校のPTA役員や、教育関係者約8千人が集まり、県内10カ所で開催された分科会では、教育をテーマとした講演や意見交換などが行われた。27日の全体会では、薬和生文部科学副大臣